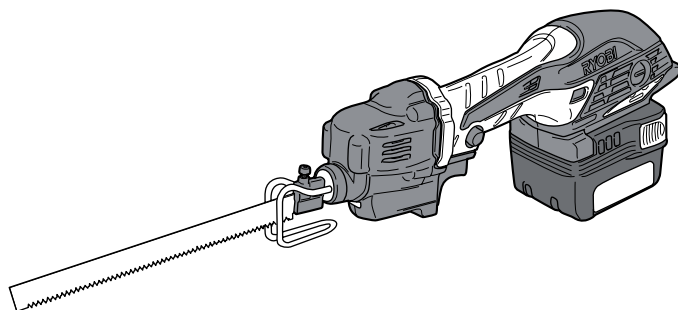


RYOBI

充電式小型レシプロソー

BRJ-1 20 (M)

取扱説明書



もくじ

■安全上のご注意	1 ~ 8
■各部の名称	9
■仕様・付属品・用途	10
■1回のフル充電あたりの作業量（目安）	11
■充電について	11 ~ 14
■操作方法	15 ~ 18
■作業方法	19 ~ 20
■別販売品について	21 ~ 25
■保守と点検	26 ~ 27



Li-ion

リチウムイオン電池は
リサイクルへ

このたびは、リョービ充電式小型レシプロソーをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△危険」と「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - △危険：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。
 - △警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - △注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 「△危険」・「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
 - 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

△ 危険

安全作業のために：

1. 指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。
 - ・改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具本体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
2. 電池パックは火への投入、加熱をしないでください。
3. 電池パックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、上に物を置いたり、分解・改造をしないでください。
4. 電池パックの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
 - ・電池パックを充電工具または充電器から取外して保管する場合は、金属物の接触による短絡を防ぐため、ビニール袋に入れてください。電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

⚠ 危険

5. 電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・発熱・発火・破裂のおそれがあります。
6. 電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。
 - ・電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
7. 電池パックを電源コンセントや、車のシガレットコンセントなどに直接接続しないでください。
 - ・高い電圧が加えられることによって、感電したり、過大な電流が流れ、電池が漏液、発熱、破裂、発火する原因になります。
8. 電池パックは指定以外の充電工具で使用しないでください。
 - ・指定の充電工具以外の用途に使用すると、充電工具によっては異常な電流が流れたりして、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。

⚠ 警告

1. 正しく充電してください。
 - ・この充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
 - ・周囲の温度が0℃以下、または周囲の温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。
 - ・電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。
 - ・使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
2. 感電に注意してください。
 - ・ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
3. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
4. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
5. 防音保護具を着用してください。
 - ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

警告

6. 加工するものをしっかりと固定してください。
 - ・加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
7. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
8. 不意な始動は避けてください。
 - ・スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・電池パックをさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・この取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
10. 電池パックの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
11. 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。
12. ご使用済みの電池パックは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・棄てられた電池パックがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になるおそれがあります。
13. 電池パックを電子レンジに入れないでください。
 - ・急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火する原因になります。
14. 電池パックの使用、充電、保管時に異臭を発したり発熱をしたり、変色、変形、その他、今までと異なることに気がついたときは充電工具あるいは充電器より取外し、使用しないでください。
 - ・そのまま使用すると、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。
15. 電池が漏液したり、異臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
 - ・漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。

⚠ 注意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
2. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所または鍵のかかる所に保管してください。
 - ・ 充電工具や電池パックを、温度が45℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の実内など）に保管しないでください。
4. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
 - ・ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
5. 作業に合った充電工具を使用してください。
 - ・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれるおそれがあるので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 充電工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のところがった所に近づけないでください。
 - ・ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

⚠ 注意

9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとせ、バランスを保つようにしてください。
10. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
12. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
13. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。
14. 電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
 - ・皮膚がかぶれたりするおそれがあります。
15. 電池パックは出荷前に若干量の充電をしてありますので、充電工具の動作確認にお使いください。動作確認ができない場合や、長時間の使用の場合には、指定の充電器で充電してからお使いください。
16. 電池パックの端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてから使用してください。
 - ・充電工具との接触が悪くなり電源が切れたり、充電されなくなることがあります。
17. 電池パックには危険を防止するための保護装置が組み込まれています。保護装置にダメージを与えるような静電気が発生する場所で使用しないでください。
 - ・保護装置が壊れ、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。

注意

18. 充電工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・サービスマン以外の方は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行なわないでください。
- ・充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は、点検・修理に出してください。
- ・この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

充電式小型レシプロソーご使用に際して

先に充電工具として共通の危険・警告・注意事項を述べましたが、充電式小型レシプロソーをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

1. 使用中は、本体を確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
2. 使用中は工具類（ブレードなど）や切り屑に手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
3. 使用中、工具類（ブレードなど）が電線管・水道管やガス管などの埋設物に触れると感電やガス漏れなどのおそれがあります。使用前に埋設物がないかどうか十分確認してください。
 - ・埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れのおそれがあり、事故の原因になります。
4. 誤って落したり、ぶつけたときは、工具類（ブレードなど）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

警告

5. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
6. 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでブレードが、はさみ付けられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
 - ・ブレードがはさみ付けられると、けがの原因になります。
7. 電池パックは発煙、発火、破裂のおそれがあります。次のようなことはしないでください。
 - ・端子に金属類を接触させないでください。
 - ・釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
 - ・雨や水に濡らさないでください。
8. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では使用や充電はしないでください。
 - ・爆発や火災のおそれがあります。
9. 火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。
 - ・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
 - ・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
10. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片、水などの異物を近付けないでください。
11. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

注意

1. 工具類（ブレードなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実にしないと、外れたり、けがの原因になります。
2. 工具類（ブレードなど）の交換は手袋・ウエスなどで手を保護してから行なってください。
 - ・けがの原因になります。
3. 作業直後の工具類（ブレードなど）、材料、切り屑などは非常に熱くなっているので、触れないでください。
 - ・やけどの原因になります。

⚠ 注意

4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。
 - ・材料や機体など落としたとき、事故の原因になります。
5. 本体を作動させたまま床などに放置しないでください。
 - ・けがの原因になります。
6. 連続して使用したときは、本体が熱を持ち熱くなります。特に先端の金属部は熱くなりますので不用意に触れないでください。
 - ・やけどの原因になります。
7. 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。
 - ・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。



Li-ion

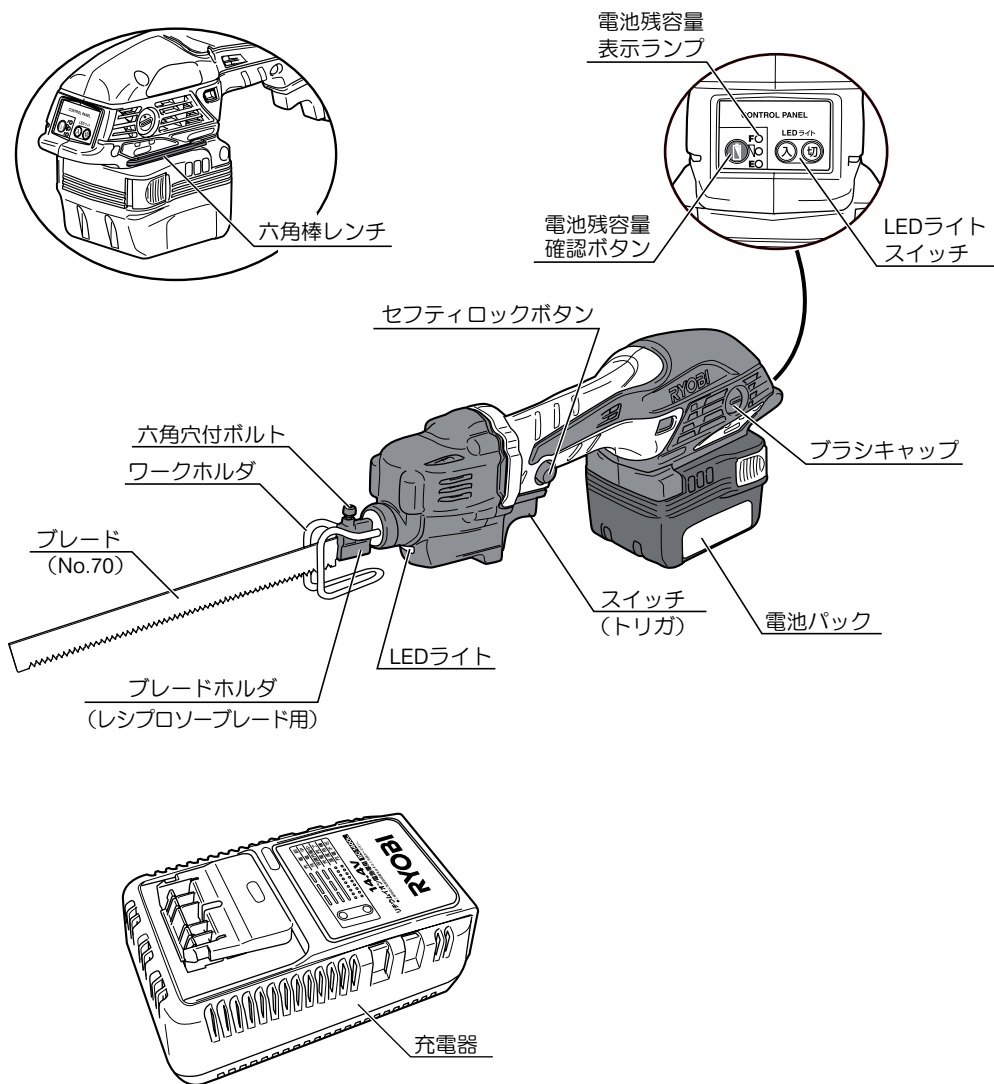
リチウムイオン電池の回収にご協力ください。

左のマークはリサイクルができるリチウムイオン電池を使用していることを表しています。リョービグループでは、希少資源のリサイクル活動と環境保護のため、使用済みのリチウムイオン電池の回収を行なっています。不要になったリチウムイオン電池（電池パック）は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお持ちくださるようお願いいたします。

⚠ 注意

- ・不要になったリチウムイオン電池（電池パック）をそのまま放置されますと、端子部分のショートにより発熱することがありますので、端子部分にビニールテープなどを貼って短絡防止をしてください。

各部の名称



仕様・付属品・用途

●仕様

●本体

- ・無負荷ストローク数 0～5,000 min⁻¹
- ・ストローク量 10 mm
- ・切断能力 塩ビパイプ（径） 120 mm
木材（厚さ） 55 mm
軟鋼材（厚さ） 3.5 mm
- ・電圧 DC 14.4 V
- ・使用電池パック B-1430L
- ・付属充電器 BC-1400L
- ・本体寸法（長さ×幅×高さ） 359×83×128 mm
- ・質量（電池パック含） 1.8 kg （3,000mAh電池パック取付時）

●電池パック（B-1430L）

- ・電圧 DC14.4V
- ・電池 リチウムイオン電池
- ・容量 3,000mAh
- ・質量 0.5kg

●充電器（BC-1400L）

- ・電源 AC 100V 50/60Hz
- ・定格出力電圧 DC 14.4V
- ・標準充電時間 27分
- ・質量 0.8kg

●付属品

- ・六角棒レンチ 3mm（本体収納） 1
- ・ブレードホルダ（六角穴付ボルト付）（本体装着）
レシプロソーブレード用 1
- ・レシプロソーブレード No.66 235mm 1
- ・レシプロソーブレード No.70 223mm 1
- ・充電器（BC-1400L） 1
- ・電池パック（B-1430L） 1
- ・キャリングケース 1

●用途

- ・各種木材、合成樹脂の切断
- ・パイプ、アングル、サッシ、ALCなどの切断※
- ・軟鋼、アルミ、銅、黄銅など各種金属の切断※

※ 別途専用のブレードが必要です。

用途に応じてブレードをお買い求めください。

（21～22ページ『各種ブレード』参照）

1回のフル充電あたりの作業量（目安） （周囲温度20℃）

- ※ ・表中の数値は参考値です。電池パックの電池容量および、材質、ブレードの切れ味、作業状況、周囲温度などにより数値は異なります。
・スイッチ（トリガ）をいっばいに引いた状態で値です。

被削材	サイズ	使用ブレード	切断量
竹	（径）60mm	223mm（No.70）	約165カット
赤 松	（径）36mm	235mm（No.66）	約170カット

（3,000mAh 電池パック使用時）

充電について

⚠ 危険

1. 指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。
 - ・改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
2. 電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。
 - ・電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。

⚠ 警告

1. 正しく充電してください。
 - ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し火災のおそれがあります。
 - ・周囲の温度が0℃以下、または周囲の温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。
 - ・電池パックは換気の良い場所で充電してください。充電中、電池パックや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。
 - ・使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災のおそれがあります。
2. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では使用や充電はしないでください。
 - ・爆発や火災のおそれがあります。

⚠ 警告

3. 火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。
- ・ 段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

⚠ 注意

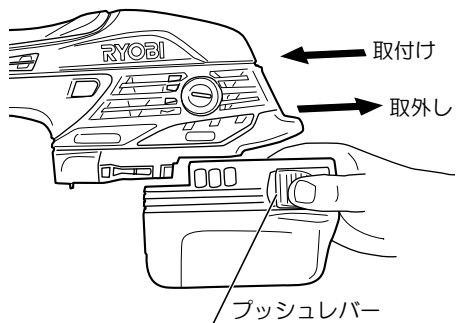
1. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
- ・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - ・ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電やショートして発火するおそれがあります。
2. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
- ・ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

●電池パックの取外し、取付け

⚠ 警告

- ・ 電池パックの取外し、取付けのときは、周囲に人や動物、物がないことを確認してください。ブレードによるけがや破損の原因になります。

- ・ 電池パックの取外しは、両側のプッシュレバーを押さえて、矢印方向にまっすぐ抜いてください。
プッシュレバーを押えると電池パックがバネで押し出されます。電池パックの落下に注意してください。
- ・ 取付けは、電池パックの溝に本体を合わせ、矢印方向にまっすぐさし込んでください。
カチッと音がして、プッシュレバーがもとの位置に戻っていることを確認してください。

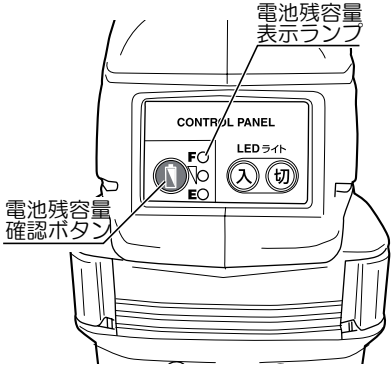


充電について

●電池残容量の確認

- 電池残容量確認ボタンを押すと2秒間電池残容量表示ランプが点灯します。
ランプの点灯により電池の残容量を確認することができます。
ランプの表示内容は下表の通りです。

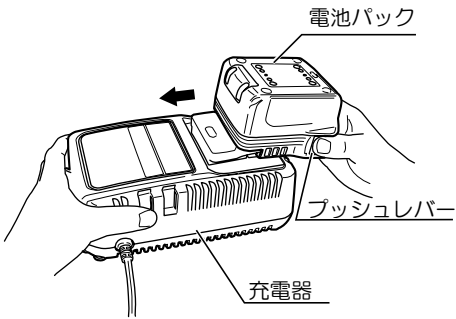
ランプ表示	電池状態
● ● ● 3個点灯	満充電の状態。
○ ● ● 2個点灯	まだ半分使用できます。
○ ○ ● 1個点灯	充電をおすすめします。
○ ○ ● 1個点滅	充電が必要です。



●充電方法

- 充電中は充電器本体に多少の熱を持ちますが性能には影響ありません。
充電状態は充電器のランプで表示しています。（14ページ 表1）

- 充電器の電源プラグを電源コンセントにさし込みます。
- 電池パックを充電器のさし込み口にカチッと音がするまでさし込みます。
- 充電が完了したら電池パックを充電器から抜取ります。（両側のブッシュレバーを押しながら抜いてください。）
- 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



- 充電中、テレビ・ラジオなどに雑音が入ることがあります。この場合、充電器をテレビ・ラジオから離すか、別のコンセントを使用してください。
- リチウムイオン電池は、電池パックの温度が0℃～40℃の間で充電できますが、電池パックの温度が5℃以下の場合は充電完了までの時間が長くなります。
- 充電完了後は、必ず充電器から電池パックを取外してください。

(BC-1 400Lランプ表示)

表1

表示モード	ランプの表示		表示内容
充電前	緑	点 滅 	充電器をコンセントにさし込んだ状態。
充電中	赤	点 灯 	充電している状態。
保護充電中	赤	点 滅 	電池保護のための初期充電状態。※
充電完了	緑	点 灯 	充電が完了した状態。
温度待機	緑	短点滅 	電池/パックの温度が充電に適した温度でない状態。 ・充電に適した温度になると自動的に充電を開始します。
充電不可	赤・緑	短点滅 (交互) 	充電できない状態。 ・電池寿命または電池パックの故障が考えられます。

※ 購入後、初めての使用時や、長期保管後の電池は、“保護充電中”になる場合があります。
保護充電が終了すると、自動で“充電中”に切り替わります。

●電池パックについて

- ・本機に使用可能な電池パックは表2の通りです。お手持ちの電池パックをご使用の場合、または購入される際は、表2をご確認ください。

表2

リチウムイオン電池	B-1415L 1,500mAh	B-1425L 2,500mAh	B-1430L 3,000mAh	B-1440L 4,000mAh
使 用	可	可	可	可
標準充電時間	27分	27分	27分	40分

(充電器 BC-1 400L 使用時)

●電池パックの保管について

⚠ 注意

- ・電池容量が少ない状態で放置しないでください。(電池残容量表示ランプが点滅の場合充電をおすすめします。)
- ・満充電状態の電池パックを再度充電しないでください。
- ・長期間(6ヶ月以上)ご使用にならない場合は、満充電にして保管ください。
- ・電池パックを長期間保管する際は、必ず本体または充電器から取外して保管してください。

●電池寿命について

- ・正しく充電しても使用時間が著しく短くなった場合には、電池寿命が過ぎたものとお考えいただき新しい電池パックをお買い求めください。

操作方法

●スイッチ操作

⚠ 警告

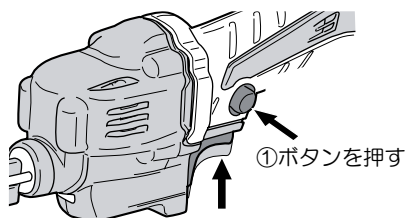
- ・スイッチを入れる前に近くに人がいないことを確認し、本体をしっかりとってください。ブレードなどの可動部には手や顔などを近づけないでください。けがや事故の原因になります。

本機はセフティスイッチを採用しています。
セフティロックボタンを押さなければスイッチは入りません。



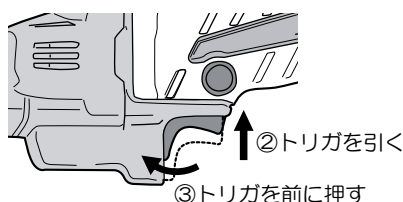
●スイッチの入/切

- ・セフティロックボタンを押した状態で、トリガを引くとスイッチが入ります。
トリガから指を放すと切れます。



●連続使用の場合

- ・セフティロックボタンを押した状態で、トリガをいっぱいまで引きます。
いっぱいに引いた状態でトリガを前に押しとトリガがロックされ、トリガから指を放してもスイッチは入った状態になり連続運転となります。
- ・解除する場合は、トリガを引き、トリガから指を放すとスイッチは切れます。



●ストローク数の調整

- ・トリガの引き具合によりストローク数を0～5,000min⁻¹の範囲で調整できます。
- ・一般には、木材やALC材などは高速、金属やプラスチックなどは中速～低速が適しています。
- ・低速で長時間の連続作業は、モーターに無理がかかり、モーター焼損の原因になります。
特に切断中、ブレードが停止するような無理な使い方はしないでください。

●保護機能

- ・本機には保護機能（制御回路）を搭載しています。

本機使用中、スイッチ（トリガ）を引いた状態でも下記の場合、モーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり、故障ではありません。

- ①電池容量が少なくなるとモーターが停止します。速やかに充電してください。
- ②連続・過負荷状態などの使用時に電池温度が高くなり、モーターが停止する場合があります。電池パックを本体から取外して、電池を冷却してください。
- ③過負荷状態で使用するとモーターが停止する場合があります。一旦スイッチを切り、過負荷の原因を取除いてください。再度、スイッチ（トリガ）を引くと使用できます。

●再起動防止機能

- ・スイッチが入の状態（トリガを引いた状態）で電池パックをさし込んでも起動しません。一旦、スイッチを切り、再度スイッチを入れる（トリガを引く）と起動します。

●LEDライト

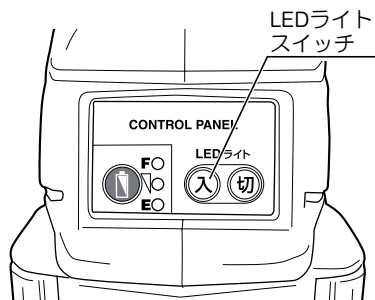
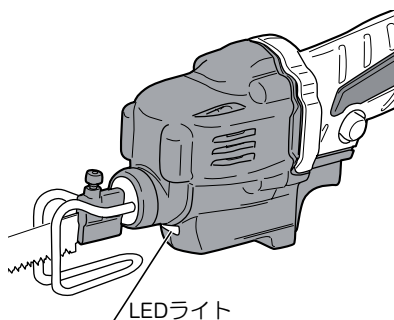
△ 注意

- ・LEDライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。LEDライトの光が連続して目にあたると、目を痛める原因になります。

- ・本機には暗い場所でも切断位置が確認できるLEDライトがついています。

- ・LEDライトスイッチの『入』側を押すと点灯し、『切』側を押すと消えます。

※LEDライトのスイッチは、本体のスイッチと連動していません。



- ・ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などでふき取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、明るさが低下する原因になります。
- ・ライトレンズの清掃は、ガソリン、シンナーなどを使用しないでください。レンズを傷めます。

操作方法

●ブレードの取付け・取外し

⚠ 警告

- ・ブレードの取付け、取外しのときは、必ずスイッチを切り、本体より電池パックを取外してください。不意な始動による、けがの原因になります。

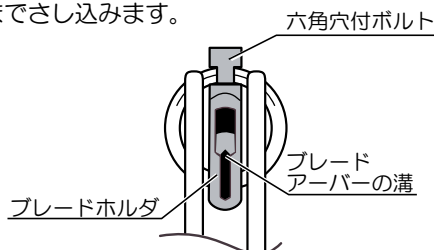
⚠ 注意

- ・作業直後のブレードは非常に熱くなっているので、触れないでください。やけどの原因になります。

- ※ 加工材に適したブレードを取付けてください。ジグソーブレードを取付けるときは、ブレードホルダをジグソーブレード用に交換する必要があります。別販売品のジグソーブレード用ブレードホルダを別途お買い求めください。
- ※ 作業時には、本体収納の六角棒レンチ(3mm)を本体より取出して使用してください。作業終了後は本体に収納してください。

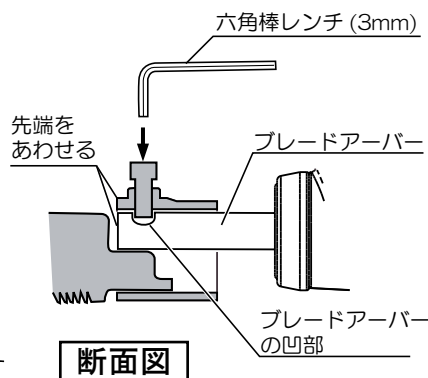
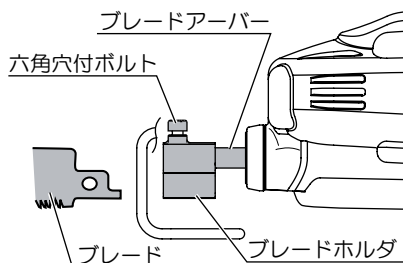
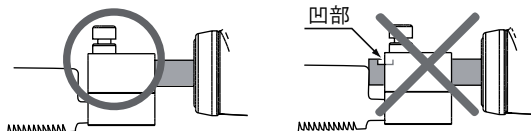
(取付け)

1. 本体収納の六角棒レンチ(3mm)を取出し、六角穴付ボルトをゆるめます。
2. ブレードの刃先に注意しながら、ブレードホルダとブレードアーバーの溝部にブレードを奥までさし込みます。



3. ブレードホルダとブレードアーバーの先端を合わせ、六角穴付ボルトを六角棒レンチで締付けます。

- ※ 六角穴付ボルトがブレードアーバーの凹部にはまる位置で締付けてください。



4. 刃部に注意しながらブレードを2～3回引っ張り、ブレードが確実に取付けられたことを確認してください。

（取外し）

- 六角棒レンチで六角穴付ボルトをゆるめます。
- 刃先に注意しながらブレードを前方に引抜きます。

●取付可能な先端工具

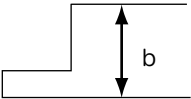
取付可能な寸法一覧 (mm)

板厚 (t)	幅 (b)	
	レシプロソーブレード	ジグソーブレード
0.6	12.3 ～ 12.9	6.6 ～ 7.1
0.7	12.2 ～ 12.8	6.5 ～ 7.0
0.8	12.2 ～ 12.7	6.5 ～ 6.9
0.9	12.1 ～ 12.6	6.4 ～ 6.8
1.0	12.0 ～ 12.6	6.3 ～ 6.8
1.1	11.9 ～ 12.5	6.2 ～ 6.7
1.2	11.8 ～ 12.4	6.1 ～ 6.6
1.3	11.8 ～ 12.3	6.1 ～ 6.5
1.4	11.7 ～ 12.2	6.0 ～ 6.5
1.5	11.6 ～ 12.2	5.9 ～ 6.4
1.6	11.5 ～ 12.1	5.8 ～ 6.3
1.7	11.4 ～ 12.0	5.8 ～ 6.2
1.8	11.3 ～ 11.9	5.7 ～ 6.1

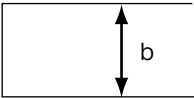
●レシプロソーブレード

取付け部の形状

- 通常のレシプロソー用
(板厚1.0mm、幅 (b) 12.6mm)



- 金切鋸刃（ハクソー）などの形状
四角い板状であれば左表の寸法内で取付け可能です。
- * 必要取付長さは10～20mm



※ 市販されている手鋸刃の取付けはできません。

●ジグソーブレード

取付可能なブレードタイプ

スタンダードタイプ	Bタイプ

※ ジグソーブレードを取付けるときは、ブレードホルダをジグソーブレード用に交換する必要があります。別販売品のジグソーブレード用のブレードホルダを別途買い求めください。

作業方法

⚠ 警告

- ・加工材をしっかりと固定してください。加工材を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
- ・使用中、ブレードが電線管・水道管やガス管などの埋設物に触れると感電やガス漏れなどのおそれがあります。使用前に埋設物がないかどうか十分確認してください。埋設物に触れると事故の原因になります。
- ・使用中はブレードや切り屑に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- ・切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでブレードが、はさみ付けられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。ブレードがはさみつけられると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- ・作業直後のブレード、材料、切り屑などは非常に熱くなっているので、触れないでください。やけどの原因になります。
- ・連続して使用したときは、本体が熱を持ち熱くなります。特に先端の金属部は熱くなりますので不用意に触れないでください。やけどの原因になります。



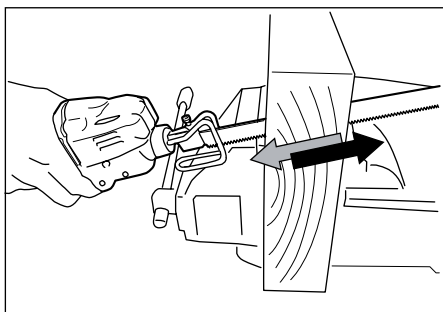
- ・加工材に適したブレードを使用してください。
ブレードの先端が常に加工材より出ている（ストローク量以上）ものを選んでください。ブレードの切断能力以上の太いパイプや大きい木材などを切断すると、ブレード先端がパイプ内壁または木材に当たってブレードを折損するおそれがあります。
- ・予備（別販売品）の電池を使用して連続作業をされる場合は、本機を15分以上休止させてください。

- ・加工材にワークホルダを当て材料とブレードがばたつかないように注意して、ゆっくりスイッチを入れ、ブレードが切断位置に位置決めできたら徐々にスピードを速くします。
- ・金属切断の場合は、適当な切削油（マシン油など）を使用してください。ブレードの寿命に大きく影響します。
- ・加工材にブレードを当てゆっくりと切断を始めれば位置決めが楽に行なえます。

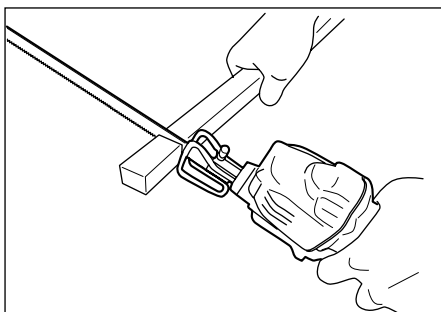
●使い方のコツ

- ・手鋸と同じく本体を引き切り（前後動）のように動かすことで刃物の目に詰まった屑が落ち、効率よくスピーディに切断できます。
既存のレシプロソーと同じ感覚で本体を押さえつけただけではすぐに刃物の目に屑が詰まり切断スピードが遅くなります。
また、引き切りのスペースが無い狭い所では切断幅の手元側と奥側を交互に押さえるように動作をすることで、目に詰まった屑を落としながら切断していきます。

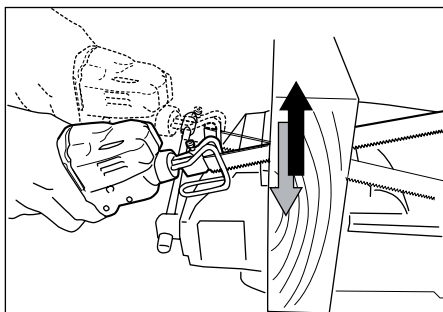
●作業例



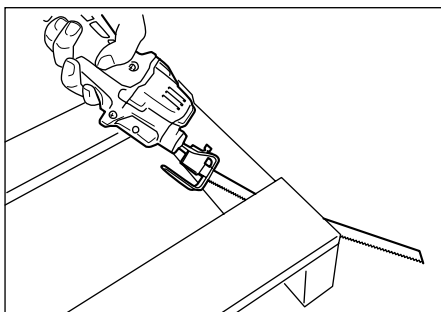
引き切り（前後動）



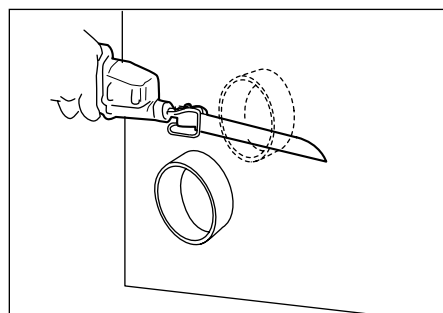
片手作業
ワークホルダに材料を当てて切断します。



狭所作業（上下運動）



金切鋸刃（ハクソー）を取付けて、パレットの釘切断など



壁に沿っての塩ビパイプ切断

別販売品について



- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。
別販売品の詳細につきましては、総合カタログを参照していただくか、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。

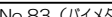
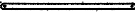
●各種ブレード

本機に使用できるブレードは下記の通りです。用途に合わせてお買い求めください。

- ・ 加工材に適したブレードを使用してください。
- ・ 常に切れ味の良いブレードを使用してください。

●レシプロソーブレード（レシプロソー刃）

※標記している切断能力は刃物の能力です。

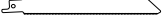
用途・特長		切断能力※（mm）								全長 （mm）	山数 （1インチ 当り）	刃渡り （mm）	商品名（材質） 形状
		パイプ材				板材							
		パイプ径	ステンレス	軟鋼・銅	塩ビ	ステンレス	軟鋼	アルミ・銅	塩ビ				
鉄 工 ・ ス テ ン レ ス 用	薄鉄板・軽天材用 長寿命 パイメタルブレード		0.5～2			0.5～2			100	32	84	No.69（パイメタル） 	
	ステンレス・軟鋼材 非鉄金属・合成樹脂用 長寿命 パイメタルブレード	50以下	3以下	3.5以下	2～10	1～3	1～3	5以下	10以下	101	24	75	No.79（パイメタル） 
		75以下								152		126	No.80（パイメタル） 
		130以下								228		203	No.81（パイメタル） 
		50以下			2～15	2～3	2～6	5～20	5～30	101	18	75	No.82（パイメタル） 
		75以下								152		126	No.83（パイメタル） 
		130以下								228		203	No.84（パイメタル） 
		160以下								254		233	No.85（パイメタル） 
	ステンレス・軟鋼材用 リフォームの隙切や パイプの立上切断	160以下			2～10	1～3	1～3	5以下	10以下	264	24	258	ハクソー（パイメタル） 
	フナ レイ フ ド	ダンボール・繊維製品 ゴム		ゴム 10mm 以下 ダンボール 30mm 以下 発砲スチロール 50mm 以下							100	—	73

●レシプロソーブレード（レシプロソー刃）

※標記している切断能力は刃物の能力です。

用途・特長		切断能力※（mm）					全長 （mm）	山数 （1インチ 当り）	刃渡り （mm）	商品名（材質） 形状
		木材	塩ビなど			ALC				
			パイプ材		板材					
			厚さ	パイプ径						
木工・合成樹脂用	荒切、窓開け加工用	90 以下	90 以下	3 ～ 15	5 ～ 30		165	9	145	No.53（SK 材） 
	目立刃	145 以下	145 以下	2 ～ 15	5 ～ 30		236	17	206	No.88（SK 材） 
		90 以下	90 以下	2 ～ 15	5 ～ 30		175	17	146	No.89（SK 材） 
	木工曲線、窓開け加工用	30 以下	30 以下		5 ～ 30		75	9	55	No.67（SK 材） 
	剪定刃	90 以下					175	8.5	143	No.68（SK 材） 
	木工、剪定用	145 以下					236	8.5	213	No.90（SK 材） 
木工リフォーム用	釘入木材の加工や ALC 切断、 長寿命バイメタル ブレード	50 以下			10 ～ 30	50 以下	101	6	75	No.76（バイメタル） 
		75 以下	75 以下	2.2 ～ 15	5 ～ 30	75 以下	152	10	126	No.77（バイメタル） 
		175 以下	175 以下	2.2 ～ 15	5 ～ 30	175 以下	305	10 ～ 14※	280	No.78（バイメタル） 

※ 10 山と 14 山のコンビネーションブレード

（国産高級刃） 用途		竹の伐採	竹細工 寸切り 斜め切り	雑木・果樹 の伐採 枝剪定	雑木・果樹 の伐採 幹剪定	一般的な 木工	塩ビ管の 切 断	全長 （mm）	山数 （寸当り）	刃渡り （mm）	商品名（材質） 形状
竹・雑木・果樹・細工用	粗挽き	△	—	○	◎	○	—	235	9	200	No.66（SK 材）付属品 
	万能	◎	○	◎	○	○	○	223	12	190	No.70（SK 材）付属品 
	細目	◎	◎	○	—	○	△	223	20	200	No.71（SK 材） 
	短尺	◎	◎	◎	○	○	○	185	16	150	No.86（SK 材） 
	短尺 （細目）	◎	◎	◎	—	○	△	185	20	150	No.87（SK 材） 

別販売品について

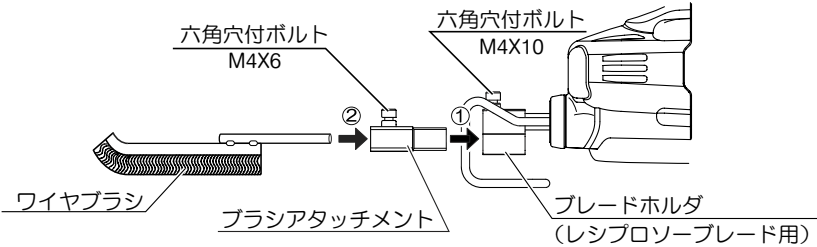
●ワイヤブラシ・ヤスリ

用途・特長		商品名	形状	取付形状	
ヤ ス リ	鋼板の錆落とし、 塗装剥がし、 鋳物の表面清掃、 溶接箇所仕上げ、 メッキ塗装の下地処理、 各種バリ取り、 ゴム製品の成形仕上げ	平ヤスリ（中目）		軸径 5mm (ブラシアタッチ メントを使用) 	
		半丸ヤスリ（中目）			
ブ ラ シ		ワイヤブラシ 鋼線（φ 0.3）			
		ワイヤブラシ 鋼線（φ 0.18）			
		ワイヤブラシ ステンレス線（φ 0.2）			
		ワイヤブラシ ナイロン線（φ 0.3）			
		ワイヤブラシ 真鍮線（φ 0.15）			
一般的な表面清掃・洗浄					
鋼合金の研磨仕上げ、木工製品の 木目出し、毛織物の起毛					

●ワイヤブラシ（丸軸）、ヤスリの取付け

⚠ 警 告

- ・ワイヤブラシ、ヤスリを着脱するときは、必ずスイッチを切り、本体より電池パックを外してください。不意な始動による、けがの原因になります。
- ・本体収納の六角棒レンチ（3mm）を取出します。
- ① 六角穴付ボルト（M4X10）をゆるめます。ブレードホルダにブラシアタッチメントをさし込んで取付け、六角穴付ボルトを締付けて固定します。
- ② 六角穴付ボルト（M4X6）をゆるめます。ブラシアタッチメントにワイヤブラシまたはヤスリの丸軸をさし込んで取付け、六角穴付ボルトを締付けて固定します。

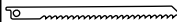
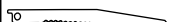
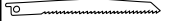
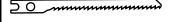
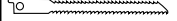
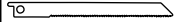
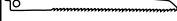
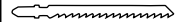
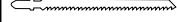
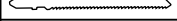
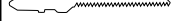
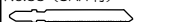
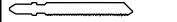
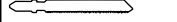
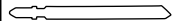


※六角穴付ボルトがブレードアーバーの凹部にはまる位置で締付けてください。
（17 ページ参照）

●ジグソーブレード（ジグソー刃）

※ ジグソーブレードを使用するときは、別販売品の専用ブレードホルダが必要です。

※標記している切断能力は刃物の能力です。

取付形状	用途・特長	切断能力※（mm）					全長 （mm）	山数 （1インチ 当り）	刃渡り （mm）	商品名（材質） 形状
		木材合板	合成樹脂	非鉄金属	軟鋼板	ステンレス				
スタンダードタイプ	木工・新建材・アルミ	木工荒切用 オービタル付ジグソーに最適なストレート刃	3～50	3～50			100	8	81	No.15（SK材） 
		木工高速切断、荒切用 オービタル機能が無いジグソーでも高速切断可能な角度付	3～45	3～45			95	9	75	No.5（SK材） 
		木工仕上用目立刃 バックテーパータイプできれいな切断面 オービタル機能が無いジグソーでも高速切断可能な角度付	2～35	2～35	3～10		85	12	65	No.25（SK材） 
		木工円切仕上用目立刃 曲線切断用 バックテーパータイプできれいな切断面	2～25	2～25			76	12	55	木工円切仕上げ（SK材） 
		窓抜き用角穴加工刃 前後に切断ができる両刃タイプ 背側の歯で小さな曲線加工も可能	3～20	3～20			77	前 14 後 14	57	No.72（SK材） 
		アルミ・新建材用 オービタル付ジグソーに最適なストレート刃	2～40	2～40	3～10		91	14	71	No.12（SKH材） 
	鉄工・ステンレス	鉄工用 オービタル付ジグソーに最適なストレート刃 軟鋼板 1.5～3.0mm の切断に			1.5～6	1.5～3	77	24	57	No.13（SKH材） 
		鉄工用 オービタル機能が無いジグソーでも高速切断可能な角度付 軟鋼板 1.5～3.0mm の切断に		1.5～6	1.5～6	1.5～3	85	24	65	No.3（SKH材） 
Bタイプ	木工・新建材・アルミ	木工高速切断・荒切用目立刃 高速切断に最適	5～50				100	6	75	No.35（SK材） 
		木工仕上用目立刃（長刃） 長刃で厚物材料も切断、バックテーパータイプできれいな切断面	3～65				116	9	90	No.39（SK材） 
		新建材用 バックテーパータイプできれいな切断面	2～50	2～50	3～10		100	12	75	No.32（SKH材） 
		木工円切仕上用目立刃 バックテーパータイプできれいな切断面	2～25	2～25			76	16	45	No.73（SK材） 
	鉄工・ステンレス	鉄工用（長刃） 長刃でパイプ・アングル等の切断に最適		3～10	3～10	3～6	132	14	106	No.34（SKH材） 
		鉄工用 軟鋼板 1.5～3.0mm の切断に		1.5～6	1.5～6	1.5～3	76	24	51	No.33（SKH材） 
		鉄工・ステンレス用 パイメタルで折れにくく長寿命 軟鋼板 1.5～3.0mm、 ステンレス 1.0～2.0mm の切断に		1.5～6	1.5～6	1.5～3	76	24	54	No.74（パイメタル） 
		鉄工・ステンレス用 パイメタルで折れにくく長寿命 軟鋼板 0.5～2.0mm、ガルバリウム、軽天材やステンレス 0.5～1.0mm などの薄物の切断に		1～3	1～3	0.5～2	76	32	54	No.75（パイメタル） 
		ナイフブレード ダンボール、発砲スチロール、カーペット等、軟らかい材料の切断に最適	ゴム 10mm 以下 ダンボール 30mm 以下 発砲スチロール 50mm 以下				100	—	75	No.36（SK材） 

別販売品について

●ブレードホルダ（ジグソーブレード用）

- ・ジグソーブレードを使用する場合は、ブレードホルダをジグソーブレード用に交換してください。

（交換方法）

⚠ 警告

- ・ブレードホルダを交換するときは、必ずスイッチを切り、本体より電池パックを外してください。不意な始動による、けがの原因になります。

- ・本体収納の六角棒レンチ（3mm）を取出し、六角穴付ボルトをゆるめてブレードホルダ（レシプロソー用）を取出します。
- ・ジグソーブレード用のブレードホルダをブレードアーバーにさし込み、六角穴付ボルトを締付けて固定します。

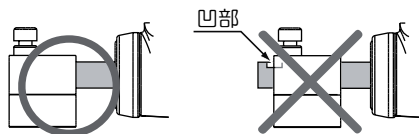
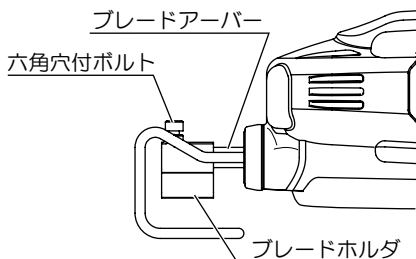
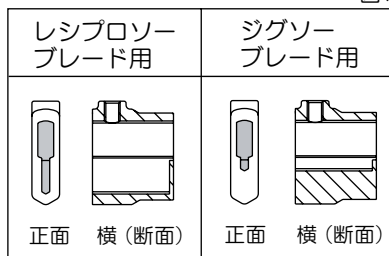
※ ブレードホルダの区別は図1で確認してください。

※ ブレードホルダは、ブレードアーバーの先端に合わせてから六角穴付ボルトを締付けてください。

六角穴付ボルトがブレードアーバーの凹部にはまる位置で締付けてください。奥側で締付けると破損の原因になります。

- ・交換作業終了後は、六角棒レンチを本体に収納してください。

ブレードホルダ 図1



●電池パック

- ・電池パックをお買い求めの際は、14ページ表2を参考にしてください。

保守と点検

⚠ 警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、本体より電池パックを取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。

●ブレードについて

- ・ブレードは常に切れ味の良いものを使用してください。切れないブレードを使用すると作業能率が悪いばかりでなく、モーターが過負荷状態になり、故障の原因になります。

●各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか、確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

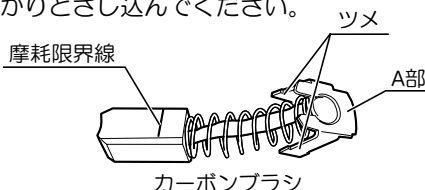
- ・油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

●カーボンブラシについて

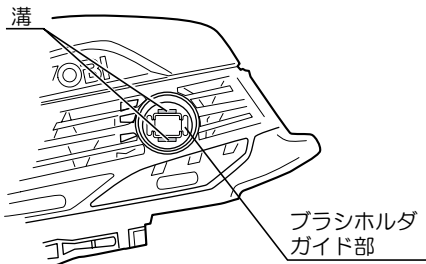
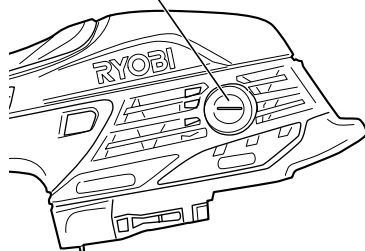
- ・本機には消耗品のカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシが横の摩耗限界線まで摩耗したら、新しいカーボンブラシと交換してください。
- カーボンブラシは2個1セットです。交換するときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。

(カーボンブラシの交換)

- ・ブラシキャップを⊖ドライバで取外します。
- ・細いドライバでカーボンブラシのA部を引っ掛けて取出します。
- ・取付けは、カーボンブラシ金具部のツメを、ブラシホルダのガイド部外側の溝に合わせてしっかりとさし込んでください。



ブラシキャップ



保守と点検

●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところは避けてください。
- ・電池パックを長期間保管する場合は下記のことにご注意してください。
 - a. リチウムイオン電池は、満充電で保管すること。
 - b. 6ヶ月に一度は充電すること。
 - c. 高温は避けること。特に45℃以上の場所での長期保管は禁止する。
 - d. -20℃以下で保管しないこと。
 - e. 熱源の近くや直射日光の当たる場所で保管しないこと。
 - f. 結露するような温度変化が大きい場所に保管しないこと。
 - g. 湿度が高い場所に保管しないこと。
 - h. 水を付着させないこと。
 - i. 低湿度の乾燥した場所で保管すること。
 - j. 運搬・移動時において、落下、大きな振動を与えないこと。
 - k. 短絡を防ぐため金属物に接触させないこと。
 - l. 必ず本体または充電器から取外して保管すること。

●修理について

- ・本機は厳密な管理の下で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。



RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512
名古屋市中白区久方1-145-1
TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141
<http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/>